

ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第69号 2022年10月



ほたるの里のはっぱ（秋）



※この里だよりは 令和4年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

ほたるの里で体験活動 ボーイスカウト第4団

日時：2022年7月24日（日）9：30～12：30

7月24日（日）ボーイスカウト八千代第4団ビーバー隊（子どもたち・お父さん・お母さん合わせて総勢30人）がほたるの里にやってきました。

里からは金室会長、坂本の2名で対応しました。

最初に金室会長からほたるの里は開設して今年で25年、環境省の生物多様性上重要な里地・里山に選ばれている等、里の概要について説明をしました。

お父さん・お母さんたちは里についてホタルは飛ぶの？どんな生物がいるの？等たいへん関心を示していました。

その後、ビーバー隊のリーダーから子どもたちへ本日の予定、注意事項等話があり、ザリガニ釣りが始まりました。当日は非常に暑かったのでトンボ池のところは避けて、木々で日差しがさえぎられた涼しい水路でザリガニ釣りを行いました。子どもたちは大はしゃぎです。また、子どもたちのころに戻って楽しんでいるお父さんたちも。。。。。



さっそく釣り上げ歓声をあげる子ども。なかなか思うように釣れなくて悪戦苦闘の子どもたち。

みんな辛抱強くがんばっていました。結果、3匹釣れた子が一番でした。子どもたちはみんな満足そうな顔をしていました。

コロナの影響で、いろいろと活動が制限されるなか、安全対策を取りながら活動して、これからも子どもたちには、生き物や自然と人とのつながりなどを多くを体感してもらいたいと思いました。

（ホタルメイト：坂本）

ほたるの里で考えよう ～SDGs・ESDってなんだろう～

日時：2022年7月30日（土）9：00～11：30

コロナと熱中症の対策をし、木立の中「SDGs」と「地球のために私ができること（SDGs）さがし」ボードを使って子どもたちとお話を始めました。節電やゴミの分別・水の節約などできる範囲で取り組んでいるようです。中にはほたるの里の活動に参加してくれている子もいて15番（陸の豊かさを守ろう）に取り組んでいると答えた子もいて心強く思いました。

池方面と小川・林方面への2班に分け互いに一周して観察開始です。池方面では小さな魚やオタマジャクシ等を見て、周りの地形を眺め生き物や昆虫が里をどう利用しているのか考えてもらいます。一方、小川・林方面では昆虫たちや植物のお話。セミの脱皮や大きなノコギリクワガタやカブトムシ、ジャコウアゲハの幼虫も観察しました。子どもたちはしおりに書ききれないくらいメモをとっていました。

その後は気になるところや生物を親に写真を撮ってもらいたくさん記録をしていました。



夏休みの課題に絵や作文を書いたり、調べ物をした子どもたち。それぞれの深掘りが楽しみです。

すでにホタルメイトになってきている家族や毎月の環境整備に参加してくれている家族。初めて参加した親子もほたるの里の活動に興味を示してくれました。

里を活用し、自然に触れ、のびのびと育つ。自然の中で考え、未来に向かって一步を踏み出してくれることを祈っています。みんなで協力をして豊かな未来になりますように！（ホタルメイト：武田）

私はホタルメイトになって4年経ちましたが、これまでほたるの里でホタルを見たことは一度もありません。今年こそはホタルを見るぞと楽しみでした。

参加者は家族32名、山崎先生、里スタッフ10名です。18時30分過ぎるとおやこが集まり始めます。新型コロナウイルス（第7波）の感染者数が増え始めたときで、参加できないとご連絡いただいた家族もあり、楽しみにしていたことを考えるととても残念に思いました。家族には密にならないように、ご協力をいただきました。

19時過ぎ里に向かって新川沿いを歩きます。今年は桜並木の下草が大きく、工事のバリケードやネットが張られています。いつもならセミの幼虫が樹木や高所を目指して歩いているところを観察できるのですが、今年はほとんど見られませんでした。その代わり樹木だけでなく、バリケードのネットに登っている姿を観察することができました。その姿は生物として“生きよう！”ととてもたくましく感じました。



ほたるの里に到着。一番人気だったのは山崎先生による野村ホイホイトラップです。トラップから白いトレーに昆虫を出すとワーッと歓声があがります。クワガタ・カブトムシ・カナブン・カミキリムシ。たくさんの昆虫が現れたので子どもたちは大喜びで手を伸ばしてつかもうとしています。

開催中にホタルを観察できず残念でした。僕は今年こそはホタルを見たいと思っていたので、終了後に里へ向かいました。すると、多少風があったのですが、一匹だけホタルが飛んでいるのが見えました。私はこれまで里で見ることができなかったので、ホタルを見られて今日はとてもいい日になりました。（ホタルメイト：板橋）

2022年度夏 ハイケポタル飛翔調査を終えて

ホタルの飛翔調査はメンバーの当番表を組んで原則 19：30～20：30 まで毎晩里に行き調査をしています。今年は幼虫の成長にバラツキが多く、時期を3回にずらして放流しましたので、調査期間が6月19日～8月15日までの58日間の長きにわたりました。

6月27日最初の2匹が飛び始めて順調にその数を増やし、7月4日に最大の10匹の飛翔を確認しました。最終は8月11日の1匹で46日間にわたりホタルの光を楽しむことが出来ました。

活動の目的の一つにホタルが自生して、生息が継続して可能になることを目標にしています。来年は2回目となる自生確認のため幼虫放流無しで飛翔するかどうか、そして令和6年も放流無しで飛翔が確認できれば、ホタルが自生した！と判断して良いのではと思います。

令和2～3年の間実験した1回目の自生確認では放流無しで3匹の成虫を確認しました。この3匹はどうして成虫になったのかを考えてみると①前年の成虫9匹が親でそこから生まれた。②成長の遅い幼虫がその年には羽化せず翌年に羽化して成虫になった、の2通りがあり、②の可能性が高いのではと考えられます。

羽化したホタルが1箇所周辺に集まっていれば交尾の機会が増えますが、観察していると離脱するものもあり里から逃げ難い環境づくりと、里の幼虫の餌が何なのかを調べる必要があるのではないかと思います。

（ホタルメイト：深澤）

年	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	R4
幼虫放流数(匹)	155	118	305	50	0	0	265
成虫数(匹)	7	8	11	9	3	0	10



（7月）ヒメコマツの周囲の草刈り



（10月）キノコ



（10月）湿地も冬の準備

里からのお知らせ・・・

看板「生き物ルール守ろう！」設置しました。



印西市からほたるの里訪問

日時：8月19日（金）10：00～12：20
場所：ほたるの里・八千代農業交流センター
研修室
参加者：印西市環境推進市民会議委員
印西市環境保全課
ほたるの里実行委員会
八千代市環境政策室
内 容：ほたるの里の活動紹介
意見交流会・・・お互いの活動など知
ることが出来ました。

◆ほたるの里活動紹介動画出展・・・「エコメッセ 2022inちば」で配信します

動画配信スタート：10月22日（土）10時～
エコメッセちば HP：<https://www.ecomesse.com/>
※（2023年エコメッセ in ちば開催まで見られます）

◆かいほい案内・・・どんな生き物がすんでいるのかな？

日時：11月12日（土）9：30～11：30
場所：ほたるの里（トンボ池）
服装：汚れてもよい服装 長靴 タオル

◆ほたるの里 25年の歩み(これまで・今・これから)・・・準備中・・・

日時：2023年3月11日（土）10：00～12：00
会場：八千代市市民会館 会議室
内容：講演「生物多様性と保全・再生活動」（仮）・事例紹介

〔編集後記〕

今年の夏も酷暑でした。
秋らしい日も少なく、気温の変化
に人も生き物たちも適応能力が必
要ですね。

里の生き物たちは、冬に向けて
準備が始まります。（広報部）

〔ほたるの里 連絡先〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5 八千代市環境政策室 内
Tel：047-483-1151（内線2216）
E-mail：kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp
HP：<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

〔編集〕広報部会・事務局